

製品名: ERBB2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80900**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	180kDa

抗原情報

遺伝子名	ERBB2
別名	NEU; HER2; TKR1; CD340; HER-2
遺伝子 ID	2064.0
SwissProt ID	P04626
免疫原	大腸菌で発現したヒト ERBB2 (aa750-987) の精製された組み換え断片。

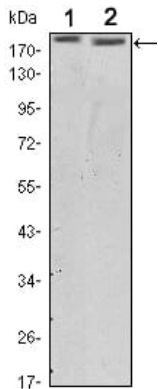
背景

ERBB2: v-erb-b2 赤芽球性白血病ウイルス癌遺伝子ホモログ 2、神経膠芽腫/神経膠芽腫由来癌遺伝子ホモログ（鳥類）。この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼである上皮成長因子（EGF）受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、リ

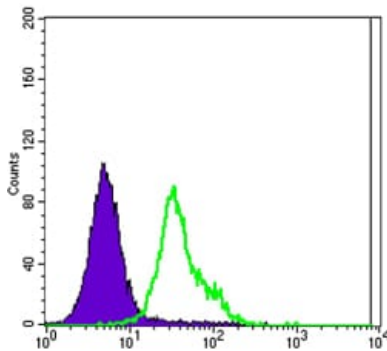
ガンド結合ドメインを持たないため、成長因子と結合できません。しかし、リガンド結合型 EGF 受容体ファミリーの他のメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成し、リガンド結合を安定化させ、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MKI) やホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ (PHKI) などの下流シグナル伝達経路のキナーゼによる活性化を促進します。アイソフォーム a のアミノ酸 654 位と 655 位 (アイソフォーム b のアミノ酸 624 位と 625 位) にアレル変異が報告されており、最も一般的なアレルである Ile654/Ile655 をここに示す。この遺伝子の増幅および / または過剰発現は、乳がんや卵巣がんを含む多くのがんにおいて報告されています。選択的スプライシングにより、いくつかの追加の転写バリエーションが生じ、その中には異なるアイソフォームをコードするものもあれば、完全には特徴づけられていないものもあります。

研究分野

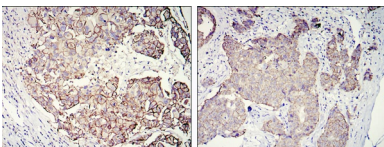
画像データ



SKBR3 (1) および MCF-7 (2) 細胞溶解物に対する ERBB2 マウス mAb を用いたウェスタンブロット解析。



ERBB2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



ERBB2 マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋ヒト乳管腫瘍の免疫組織化学分析